

にけーしよん

故兵頭俊朗さんの版画を寄贈!

「牛鬼君」の版画で知られている故兵頭俊朗さんの作品32点を、奥様の兵頭恒子さん(宇和島市)から町に寄贈していただきました。

兵頭さんは、美術教師として御荘中学校など愛南町の中学校に長く赴任され、退職後は「牛鬼」を題材に創作活動に打ち込まれ、各地で個展を開催するなど南予を代表する木版画家として活躍されていました。今回、寄贈された作品は、御荘文化センターや町内の中学校に展示し、愛南町の教育文化の向上に活用します。



トレーニングマシンをリニューアル!

B&G海洋センターのトレーニングマシンを一部リニューアルしました。

毎月第2・第4木曜日14時からと19時から、トレーニングマシン講習会を行っています。すでに講習を受けられた方にも、新しいマシンの使い方を丁寧に指導します。この機会に、日頃の運動不足を解消しませんか?皆さんの利用をお待ちしています。

詳しくは、B&G海洋センター(TEL72-1117)までお気軽にお問い合わせください。



エリプティカルウォーカー (2台)



アップライトバイク (6台)



トレッドミル (3台)

本日!海日和!!

「サンゴの多様性を守る」

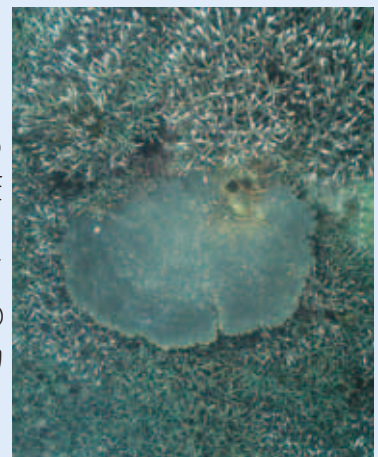
3月5日は、「さん(3)ご(5)」から、世界自然保護基金(WWF)によって、サンゴの日に制定されました。愛南町の須ノ川海岸は、海水浴をしながら、手軽にサンゴを見ることのできる貴重な場所です。

ここには、テーブルサンゴ(エンタクミドリイシやクシハダミドリイシの仲間)を中心に、多くの種類のサンゴが生育しています。種類の異なるサンゴによって、多様な環境が作られ、魚はもちろんエビやカニなど多くの生き物たちのすみかとなっています。

ところが5年ほど前から、鹿の角のような形をしたスギノキミドリイシの仲間が増えてきました。スギノキミドリイシは、温暖化の影響で水温の上った須ノ川に適応し、テーブルサンゴを覆い隠すように成長しています。写真中央のテーブルサンゴも、やがて周りのスギノキミドリイシに呑み込まれる運命でしょう。

このままスギノキミドリイシだけが増え続けると、単調な環境となり、多くの生き物たちがいなくなってしまう恐れがあります。一人ひとりが自分のできる温暖化防止に努め、豊かな須ノ川海岸を守りましょう。

(撮影:2011.1.5 須ノ川 水深5m)環境省自然公園指導員 西尾知照



愛南こみゆ

1/9 災害について考えよう!「ぼうさい大賞」受賞!

町、町教育委員会、国土交通省大洲河川国道事務所とともに本町で様々な防災教育事業を展開している愛媛大学防災情報研究センターの取り組みが、兵庫県などの主催による「1.17防災未来賞 ぼうさい甲子園」で「ぼうさい大賞 大学生の部」を受賞しました。

同センターでは、四国各地に伝わる自然災害の教訓を扱った「四国防災八十八話」を題材に、昨年度、愛南町内全小中学校を対象にした読書感想文コンクールを行っており、1月9日に兵庫県公館で行われた表彰式には、同コンクール中学生の部で最優秀作品に選ばれた松本和香那さん(篠山中2年)も出席して感想文を発表しました。

このような取り組みを通じて「防災教育」が推進され、命を守る防災意識が高まることを願います。



1/23 桜の名所、大森山を守ろう!

南レク城辺公園の大森山で、南宇和ライオンズクラブ(埜下浩孝会長 41名)が、結成45周年を記念して愛媛県に桜の苗木250本を寄贈し、そのうち50本の植樹を行いました。

同クラブは、35年前の結成10周年記念事業でも大森山に桜1000本の植樹を行っており、埜下会長は、「今後も毎年植樹を行って、大森山が愛南町の桜の名所として町内外の皆様にも末永く親しんでもらえるようにしたい」と話されていました。



1/23 すべてで!ころんで!柏小スキー教室

愛南町では体験できない冬のスポーツ、スキーを子ども達に体験してもらおうと内子町の「ソルファオダグレンデ」で、柏小学校と内海公民館共催によるスキー教室が実施され、児童46名と教職員・保護者・公民館関係者など総勢約90名が参加しました。

当日は晴天と豊富な雪に恵まれ、最高のスキー日和になりました。子ども達は、慣れない雪に戸惑っていましたが、転びながらも楽しく滑っていました。

1/23 「こぶたちゃん新聞」を発行しました!

子育て支援グループ「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」が、愛媛県「三浦保」愛基金補助事業を活用して乳幼児親子と実施した地域資源体験ツアーを広く知ってもらおうと、「こぶたちゃん新聞」を発行しました。新聞には、今年度実施した海ツアー・ぎょしょく教育編と山ツアー・山里暮らし体験編のほか、おすすめ料理レシピやママコメントなど小さい子どもを持つ母親ならではの子育て情報も掲載されています。

新聞のお求めなど詳しくは、地域交流センタープラザじょうへん(TEL73-2288)まで問い合わせください。

